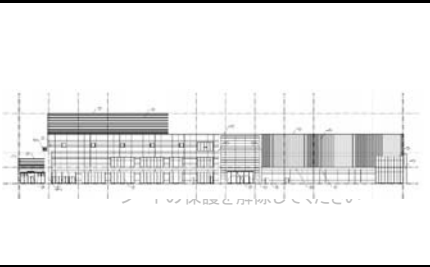


# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	SG千早建替工事(1期工事)	階数	地上3F
建設地	福岡県福岡市東区千早3丁目1-58	構造	S造
用途地域	準住居地域	平均居住人員	2,439 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集会所,病院,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2019年9月25日
敷地面積	13,938 m <sup>2</sup>	作成者	松本拓也
建築面積	7,299 m <sup>2</sup>	確認日	2019年9月26日
延床面積	15,257 m <sup>2</sup>	確認者	定森淳一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.1

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・室内環境、サービス性能への配慮を行う。 ・敷地内外環境への配慮を行っている。 ・エネルギー性能、資源マテリアルの確保に努めている。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> ・室温設定に配慮している。 ・十分な昼光率を確保している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・耐震性に配慮している。 ・給排水管は上位3種以上、Eは不使用としている。 ・給排水衛生設備の災害時における、リサイクル性は高い。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・緑地、中高木を設けている。
<b>LR1 エネルギー</b> ・BPI=0.75にする等、建物の熱負荷抑制に努めている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水型機器の採用に努めている。・LGSD下地、OA707の採用等、リサイクル性に配慮している。・防水工事のプライマー等、化学物質の使用削減に努めている。・ロケル断熱材の利用等、発泡材を用いた断熱材を採用していない。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・省エネルギー性能に配慮し、LCCO <sub>2</sub> 排出率を削減している。 ・チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し等、光害の抑制に努めている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される